

第
55
期

株 主 通 信

～ 上 半 期 の ご 報 告 ～

2011年4月1日 ▶ 2011年9月30日



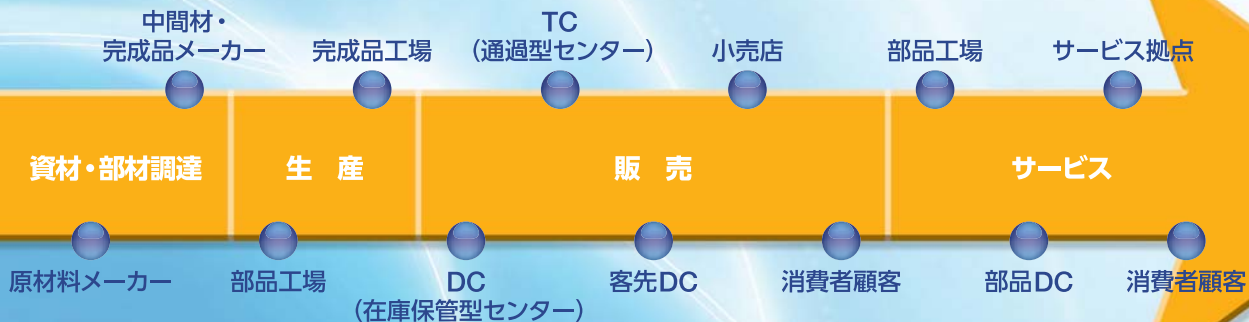
One Stop 3PL
Third-party Logistics

トランコム株式会社

トランコムは、物流の枠を超えた、先進的な物流サービスを提供しています。
幅広いネットワークを有する物流のプロフェッショナルが、ITシステムを活用し、
お客様の物流をあらゆる側面からサポートします。

1959年の設立の当社は、50年超を経て、営業収益720億円、従業員数5,835名、保有車両台数1,119台を保有する物流情報企業に成長してきました。目指す企業像は「わたしたちは期待される存在でありたい」。お客様・取引先はもちろん、社会・従業員・家族全てから期待され、その期待に応える企業を目指して日々活動しています。

国内外に98拠点を有する物流のプロフェッショナルとして、プランニングから運営管理、ITシステムの開発・運用、オペレーションに至るまで、お客様を全面的にサポートし、最適物流システムを構築しています。



One Stop 3PL

【事業内容】



物流情報サービス

全国26拠点、約10,000社の協力輸送会社のネットワークを活用し、空車トラックの情報と荷主企業の荷物情報をマッチング

貨物運送サービス

独自の多様な配送システムの組み合わせにより、最適物流システムを構築

物流センター構築運営サービス

サプライチェーン全体の課題を分析・理解し、最適な解決策で物流の一括アウトソーシングに対応

ITシステムサービス

お客様の状況・課題を最優先して、実効性のあるITシステムを導入

※数値は2011年3月末データ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日ごろよりご支援いただき、誠にありがとうございます。

当社は、顧客支持No.1を目指して、顧客の物流業務全般を一括で請け負い、物流ネットワークの構築、運営等をワンストップで提供する物流サービス「One Stop 3PL」の確立を事業戦略の柱に、事業の強化を進めております。

当上半期は、東日本大震災等の影響により貨物量が一時的に落ち込んだものの復興特需やサプライチェーンの急速な復旧により回復基調が見られました。そのような中、当社では付加価値の高い物流サービスの提供に努め、事業拠点の拡充を積極的に行いました。ロジスティクスマネジメント事業としては初の四国進出となる松山事業所を始め計4拠点を開設したほか、情報センターを2拠点、さらには今後関東圏の拡充に向けた拠点となる自社ロジスティクスセンターを埼玉県久喜市に開設しました。

海外においては、日本の5倍超の輸送量があるとされる中国で、7月に現地法人「トランコム特蘭科姆国際貨運代理(上海)有限公司」を設立し、既に9月より事業を開始しております。また9月には物流情報サービス事業の提供を目的に大連での合併会社設立に向けて契約を締結し、2012年1月の設立、同年2月の事業開始に向けて準備を進めております。

以上の結果、貨物情報数の増加や新規拠点開設により当上半期の営業収入は前年同期比10.4%増の38,582百万円となりました。しかしながら、新規拠点



開設によるイニシャルコストの増加等により、営業利益は同10.9%減の1,689百万円、経常利益は同7.6%減の1,733百万円、四半期純利益は同0.8%減の961百万円となりました。

下期以降、国内事業環境は厳しい状況になると予想されますが、引き続き「One Stop 3PL」の営業強化を通じて案件を創出するとともに、中国国内での物流情報サービスの提供や日中間の物流案件の創出等の取り組みを通じて、通期では前期比増収増益を見込んでおります。

今後とも当社グループへのご理解とご支援を賜れますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 清水正久

上半期セグメント別業績推移

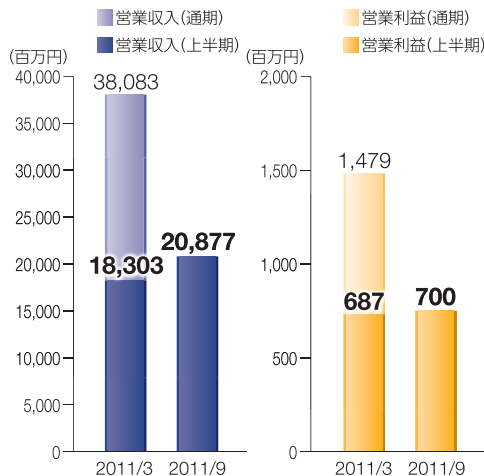
物流情報サービス事業



各拠点において貨物情報量が堅調に増加したほか、当上半期中に新規開設した岐阜・松山の2拠点等の寄与もあり、増収増益となりました。また、「とらなびネット」で会員向け支払い確認サービスを開始しました。

事業内容

- ・空車情報と貨物情報のマッチング（「求貨求車」業務）
- ・情報センター：26拠点
- ・パートナー会社：約10,000社



〈営業収入〉

その他事業
1.1%

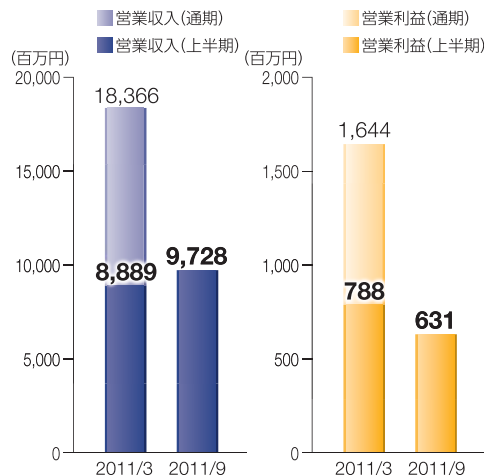
ロジスティクスマネジメント事業



久喜ロジスティクスセンターの開設やそれに伴う関東圏の拡充等、新規拠点開設や新規獲得案件で増収となりましたが、拠点開設に伴うイニシャルコストが増加し減益となりました。

事業内容

- ・顧客企業の物流機能の一括受託
- ・物流センターの運営業務
- ・事業拠点数：34拠点



物流情報サービス事業

54.0%

「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車整備業及び海外事業等を含んでいます。また、セグメント間取引を消去しておりません。



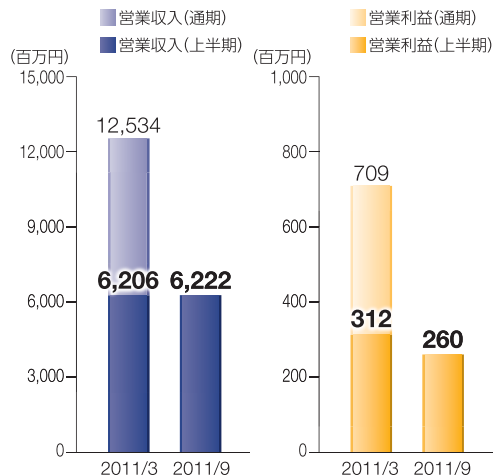
貨物運送事業



ロジスティクスマネジメント案件も含めた収入増で増収となりましたが、輸送単価の下落や共同配送部門及び一般輸送部門の配送効率の低下等により減益となりました。

事業内容

- ・共同配送
- ・一般配送
- ・時間制配送
- などの貨物の輸送業務
- ・営業所：14拠点
- ・共配センター：5拠点



IT・アウトソーシング事業

4.9%

貨物運送事業

14.8%

ロジスティクス マネジメント事業

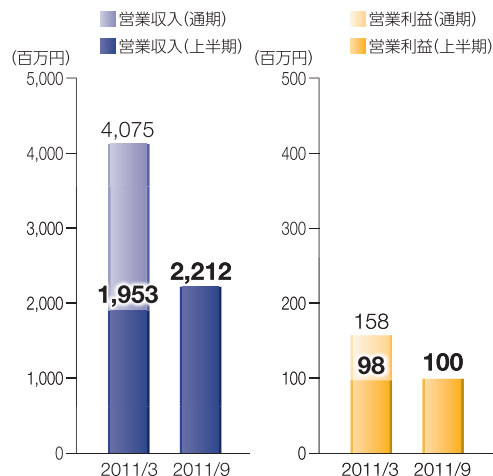
25.2%



アウトソーシング部門における受注量の増加と稼働率の向上により増収となりましたが、システム開発部門において、システム構築案件が減少した影響で、増益にとどまりました。

事業内容

- ・情報システムの開発
- ・工場の生産ライン業務等の請負



1. 埼玉県久喜市の大型物流拠点が本格稼働

名古屋を中心とした中部地区で確固たる地歩を築き上げた当社は、近年首都圏で営業強化を図っています。当社のロジスティクスセンターの中でも大型の拠点となる久喜ロジスティクスセンター(埼玉県久喜市)が本格稼働を始め、関東圏における業容拡大に大きく貢献し始めています。



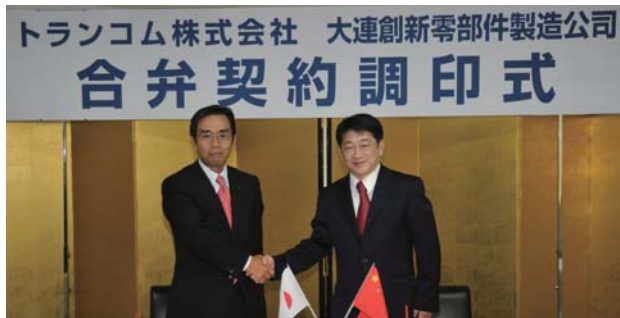
2. 中国上海に現地法人設立

日中を結ぶ物流ニーズが高まる中、2011年7月に上海に現地法人「^{トランコム}特蘭科姆国際貨運代理(上海)有限公司」を設立しました。同社では、資材・製品等の輸出入、物流センター業務、通関業務、フォワーディング業務及び工場の生産業務請負等の顧客ニーズに対応し、より利便性の高いサービスを提供していきます。また、従来から業務提携関係にあるエバーゲイン社、トレーディア社とは、同社を通じて共同で営業開発を進めていきます。



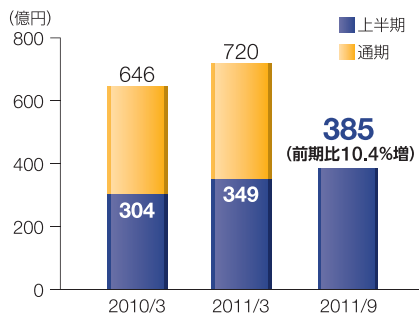
3. 中国大連で物流情報サービス事業を行う合併会社設立を決定

2011年9月に、物流情報サービス事業(求貨求車事業: 貨物情報と空車情報のマッチング)の実現を目的に、大連市にてディーゼル機械及び部品の製造・販売と倉庫・輸送サービスを展開する大連創新零部件製造会社と共に、合併会社を設立することを決定しました。本事業は大連市より開始し、順次中国国内主要都市へと展開を図る予定です。

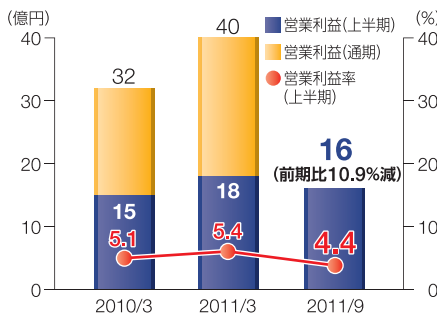


連結財務ハイライト

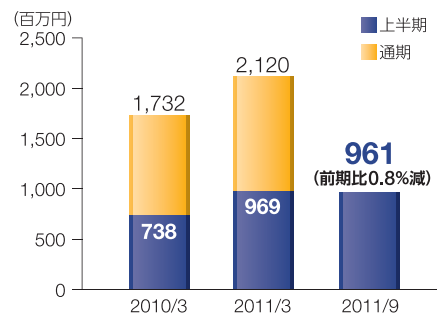
営業収入



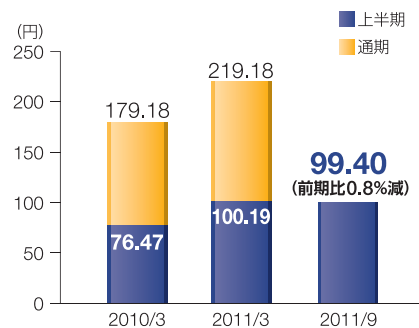
営業利益・営業利益率



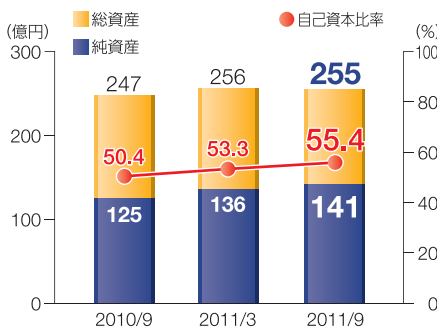
四半期(当期)純利益



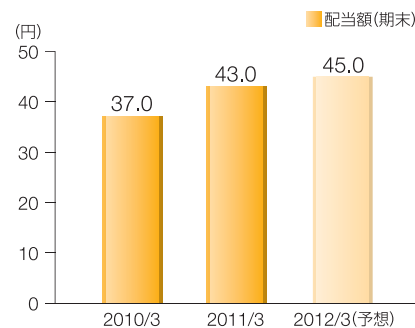
1株当たり四半期(当期)純利益



総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり配当額(期末)



2012年3月期(連結)の決算概要(予想)

(単位：百万円)

	2011年3月期	2012年3月期(予想)	増減率	コメント
営業収入	72,076	81,050	12.4%	新規顧客の獲得等により増収
営業利益	4,022	4,030	0.2%	拠点開設によるイニシャルコストの増加により微増益
経常利益	3,969	4,050	2.0%	—
当期純利益	2,120	2,300	8.5%	—

※本資料には業績見通し等の将来に対する記述が含まれています。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

会社情報

株式情報

(2011年9月30日現在)

会社概要

商号 トランコム株式会社
 本店所在地 名古屋市中区丸の内三丁目14番32号
 TEL.052-202-1011(代表)
 URL <http://www.trancom.co.jp>
 設立 1959年(昭和34年)6月22日
 資本金 1,080,047千円
 従業員数 2,275名(臨時従業員3,953名) (2011年9月30日現在)

トランコムグループ

メカノス株式会社	C&C BANGKOK CO., LTD.
トランコムISS株式会社	PT. TRANCOM INDONESIA
株式会社エコロジライン	TRANCOM(HK)LIMITED
トランコムDS株式会社	特蘭科姆国際貨運代理(上海)有限公司
トランコムEX東日本株式会社	株式会社CLIP(持分法適用会社)
株式会社エムエスケイ	

役員

代表取締役会長	武部 宏	執行役員	神野 裕弘
代表取締役社長	清水 正久	執行役員	和田 拓也
取締役常務執行役員	沼田 雅和	執行役員	岩尾 徹
取締役執行役員	長嶺 久敏	執行役員	松岡 忠
取締役執行役員	河村 政彦	常勤監査役	市村 哲三
取締役執行役員	大澤 隆	監査役	坂浦 正輝
取締役執行役員	口脇 安夫	監査役	南舘 欣也
取締役執行役員	恒川 穰	監査役	齋藤 定勝
取締役	竹内 和彦		

株式の状況

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式総数 10,324,150株
 株主数 6,739名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	株主比率(%)
ラネット株式会社	2,664	25.80
ビービーエイチフォーフィデリティー ロープライスストックファンド	1,032	9.99
トランコム株式会社	650	6.30
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイ ロンドンエスエルオムニバスアカウント	424	4.11
メロンバンクエヌエートリーティークライアントオムニバス	360	3.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	344	3.33
武部 宏	290	2.81
トランコム従業員持株会	282	2.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	223	2.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	222	2.15

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主 確定日 3月31日
 中間配当金受領株主 確定日 中間配当をする場合 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 電話 0120-232-711(通話料無料)
 上場取引所 東京証券取引所 市場第二部
 名古屋証券取引所 市場第二部
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL
<http://www.trancom.co.jp>
 (ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



本報告書は、環境保全のため、
植物油インクで印刷しています。

